



ほうなん

令和2年 1月号

杉並区立
方南小学校

03(3322)7661

<http://www.honan-e.suginami-ky.ed.jp/>

祝 「地域学校協働活動推進」に係る文部科学大臣表彰

- 学校支援本部のみなさん いつもありがとうございます -

校長 小原 潤

あけまして おめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

右の写真は、方南小学校支援本部のスタッフのみなさん（一部）です。先月の学校だよりでもお知らせしたように、このたび、「地域学校協働活動推進」に係る文部科学大臣表彰を受賞されました。本校の学校支援本部が設立されて、本年度が9年目です。この間に支援本部長の大嶋正人さんはじめとするスタッフのみなさんが「すべては子どもたちのために」という思いで、活動を続けてこられたことが、区・都だけでなく国からも認められて、今回の受賞となりました。

毎週のべ30名のボランティアの方々が多様な活動を行っている、方南の支援本部の話を、他校の先生にすると、必ず驚かれるとともに、うらやましがられます。学校として、感謝していることは、数限りなくありますが、大きくまとめると次の4つのキーワードがあげられます。

①教育活動の充実・・・3年生の町たんけん、6年生の職場体験、マラソン大会などは支援本部による、地域の方々に向けてのコーディネート（調整・まとめ）なしでは、成り立たない活動となっています。支援本部による授業支援により、方南小の教育活動が充実してきています。

②子どもたちの居場所づくり・・・週2回の「たけのこクラブ」「習字教室」土曜日の「算数サポート」だけでなく、毎日の朝、放課後の遊びの見守りも、支援本部の方々が進めてくださっています。このように、子どもたちの居場所づくりに貢献していただいております、なによりも一番喜んでいただくのは、子どもたちです。

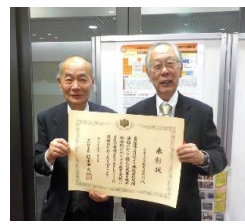


支援本部のスタッフのみなさん

③まちの活性化・・・「ホテルを観る会」「方南ぼんおどり」「もちつき大会」などのイベントについては、支援本部から地域の方々への様々な働きかけがあるおかげで、方南小の児童・保護者だけでなく、まちの未就学児や卒業生、お年寄りもたくさん集まるイベントとなっており、まちの活性化に大きく貢献しています。

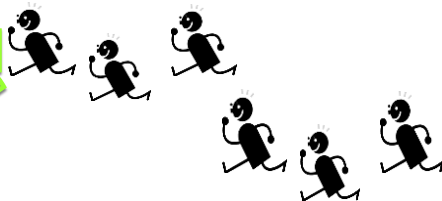
④ななめの関係・・・支援本部の様々な取組により、子どもたちは、保護者でもなく、教員でもない、たくさんの「まちの大人たち」と顔見知りになり、互いに名前を覚え合う関係が生まれています。そのような方々と気軽に話ができたり、叱ってくれたりするような関係があることは、子どもたちにとって、とても幸せなことだと思います。

近年は、学校とベクトル合わせを行いながら、同じ方向を向いて活動を進めていただいたり、釜寺、児童館、ゆうゆう館とコラボしたりと、ますます活動が進化していっています。感謝の気持ちを持ち、今後も共に子どもたちと関わっていきたいと考えています。



授賞式での内山さん・大嶋さん

マラソン大会の感想



1年生

★がんばって4いになってうれしいです。2年せいになったら、1いになりたいです。とてもたのしかったです。

★かん田川のところで、こうがくんがはやくて、ぬかせないとおもったけど、がんばってぬかしました。

★男の子がおうえんしてくれたから、がんばれました。つぎは、男の子のことを女の子がおうえんしました。

★らい年はペースをあげたいです。おとうさんとおかあさんががんばってねといってくれたから、らい年は1いを目指してがんばりたいです。

★つかれたけどじぶんのペースではしりきりました。ラストスパートもぜんかではしりきりました。2年せいになったら1いがとりたいです。

★つらかったけどめあての「ゴールするまでとまらない。」をたっせいできたから、うれしかったです。またこんど2年せいのときがんばりたいです。

★じぶんのペースでさいごまでがんばってはしるというめあてをたっせいできたからうれしいです。2いになれてうれしかったです。

★すこしつかれたけどがんばってとまらずにはしれました。れんしゅうしたおかげだとおもいました。

★さいごまではしりきれるようにペースをかんがえてはしろうというめあてをたっせいできました。らい年は、12いよりはやくはしれるようになりたいです。

4年生

★走っていたとき、みんなが「あと少しだよ。」とおうえんしてくれて泣きそうでした。足もいたくて歩きそうになったけれど、最後まで走りきり、ゴールできました。

★マラソン大会ですごくおなかがいたかったけれど、地いきの人などの色々な人がおうえんしてくれて完走できた。たくさんの人がおうえんしてくれて、うれしかった。

★私は、マラソン大会では、歩かないで走りきれました。3年の時の順位よりは下になってしまったけれど、リズムをくずさず全力で走りきれたので、うれしかったです。

★朝、私はなぜかドキドキしました。走り始めたら、手に感覚がなくなっていました。最後「ぬけた」と思ったら、ぬけなかったけれどいい記録が残せてよかったです。

★私は、目標より少し下でした。とてもくやしいです。でも、家族がおうえんしてくれたのでうれしかったです。来年も全力を出し切りたいです。

★私は6位でした。走っているとき、小さい子から大人までおうえんしてくれました。最後の一周は、みなさんが拍手してくれたので、一周走り切ってうれしかったです。

音楽タイム(5年)

連合音楽会に出演する5年生が合唱「明日へつなぐもの」と合奏「アイデア」を演奏しました。体育館いっぱい素敵なお歌声が響きました♪

ひよこのえんにち(1年)



方南児童館で行う「ひよこのえんにち」に、1年生が参加しました。クラスごとに、お店を考えました。地域の保育園や未就学児の子どもたちと交流しました。

かけ足チャレンジ・マラソン大会



「がんばれ、みんな 方南 ゴー!」
一人一人が自分の目標に向かってがんばりました。
保護者・地域の皆様、沿道のご声援ありがとうございました。

1年生の学習と生活について

1年 学年主任 浅沼 小百合



1年生は、長縄集会に向けて8の字跳びができるように体育の時間や休み時間に、一生懸命練習してきました。毎日、昨日より今日というように目標を決めて、練習に取り組む中で、自分でタイミングを計ってぐり抜けたり、跳ぶことができるようになったり、互いに声をかけ合ったりと3週間の取り組みの中でも成長を感じました。

1年生でしっかりと身に付けておきたいことは、正しい生活習慣です。進んで挨拶すること、授業の準備や後片付けをすること、しっかり最後まで話を聞くこと、学校の決まりを守ること等です。自分のことを自分ですることは、学校生活において必要なことです。それと同時に、身に付けておきたいのは、場面に応じて判断する力です。例えば、算数のプリントに取り組んでいて、間違いを直すために一生懸命消しゴムで消しているうちにプリントが破れてしまったとします。こんな時「どうしよう…」と戸惑ってしまうことでしょう。でも、学校では簡単に手を差し延べるのではなく、どうしたら解決できるか考えさせるようにしています。裏からセロテープで貼る、破れた部分を避けて答えを書く、事情を話して新しいプリントをもらう…どれも正解です。どうしたら問題を解決できるか自分で考え、自分で判断して、行動することを目指し、「どうしたらよいと思う?」と声かけをしています。

学習面では、基礎となる読み・書き・計算をしっかりと身に付けられるよう指導しています。それだけではなく、各教科でペア学習を取り入れています。ペア学習とは、自分の考えを隣の席の友達と発表し合うという活動です。1年生は、発表が大好きです。自分が考えたことを友達に聞いてくれるのは、大きな喜びであるといえます。発表が苦手な子もありますが、みんなの前では恥ずかしいけど、隣の席の友達にだったらできるという場合もあるのです。算数の「たしざん」の学習では、繰り上がりのある計算を自分なりに解決しようと一生懸命考え、既習学習である「3つのかずのたしざん」で学習したことを使って、3つのたし算にして計算する子や「10より大きいかず」で学習した10のまとまりを作って計算する子がいました。子どもたちは、自分では考えつかなかった方法に感心して聞いていました。その方法の良さを知ると、早速友達の考えを使って計算していました。1年生でも学び合いができていたと感じました。道徳でも、ペアで自分の思いを伝える活動をしています。例えば、「およげないりすさん」という教材で「友情、信頼」について考える学習では、友達のことを思うという気持ちを一括りて終わらせるのではなく、そこには友達に対する自分の行動への後悔の気持ちや友達の大切さや良さを感じる気持ちやこれからの自分への決意の気持ちなど、様々な思いが入っています。このように、友達と考えを共有して価値観を広げていくのです。みんなで学ぶことの良さは、自分とは違った思いや考えに触れたり、自分とは違うものの見方を知ったり、友達に共感してもらったりすることだと考えています。このような取り組みを継続して行い、一人一人の思いや考えを大切に育んでいきたいと思っています。

図工室より

図工専科 尾土平 誠

今回は展示会の「みんなのたからもの」について振り返りたいと思います。

今回のテーマになっていた「みんなのたからもの」は、図工の作品を通してお家の人やクラスの友達、または異学年と話し合う体験が宝物になるのではないかと私は考えました。

保護者鑑賞日には顔だし看板を使って、家族で写真を撮る風景をよく見ました。これが家庭内でのコミュニケーションの一助となればその時間が宝物になります。椅子や湯呑みをご家庭で実際に使われ、子どもたちが家族の中で役に立っているという自己有用感を育む事が宝物になります。また共同制作を通じて話し合い、協力し、時には意見を戦わせた作品は宝物になります。そして違う学年の子どもたちがお互いの作品について話し合い、様々なもの見方から子どもたちが気づきを得ることが宝物になるのです。しかしながら、作品が上手くできずに宝物に感じられなくなる子どももいます。作品を作っても思いを上手く伝えられなかったり、何を思ってたのか忘れてしまったりする子どもたちも多いのではないかと思います。そんな時はぜひ題名を聞いてみてください。そこには子どもたちの考えている思いがすてきな言葉でつぶられているからです。それがきっかけとなって宝物になるはずですよ。

私は普段の図工の作品が上手いかわなくて自信がない子どもがいたら、題名を読み直すように伝えていきます。子どもたちがそれによって隠れた思いが出てきて、自信のなかった作品が思いのつまったすてきな宝物に感じられるからです。図工の授業では鑑賞活動を通して、自分がどういう思いや工夫で作ったか、クラスの作品で良いと思った作品はどんなところを工夫していたのか等を発表したりワークシートに記入したりします。しかし夢中になって作った作品は冷静になって考えたとき、どんな事を考えたのか忘れてしまうものです。子どもたちは鑑賞活動で自分の思いや工夫を発表したり、クラスの作品のよい所を読み取ったりすることに苦労しています。そこで私が子どもたちに「題名を読み直してみようよ。」と投げかけます。子どもたちは題名を書くとき、無意識に自分が作品に込めた思いを表現しているからです。学年、クラスを問わず皆小説家や詩人のように言葉を書くので、私はその言葉を読み直すように促します。そうすると「はっ！」と気が付く子どもが多いです。図工の作品を持ち帰ったとき、題名について聞いてください。身近な作品が「みんなのたからもの」になると思います。

* 1月の行事予定 *

1月の生活目標 れいぎ正しくしよう

日	曜	行事予定	日	曜	行事予定
1	水	元日	17	金	理科出前授業（3年） フリービーのみあり
2	木		18	土	
3	金		19	日	
4	土		20	月	午前授業
5	日		21	火	書き初め展始 たてわり班遊び
6	月		22	水	児童集会
7	火	冬季休業日終	23	木	
8	水	始業式	24	金	避難訓練 2年起震車体験 のびのび・フリービーなし
9	木	給食始 計測（1・2・3年） 開校記念日 開校記念集会 5時間授業	25	土	こどもまつり 書き初め展終
10	金	安全指導日 計測（4・5・6年） 委員会 のびのび・フリービーなし	26	日	
11	土		27	月	クラブ
12	日		28	火	郷土資料館見学（3年）
13	月	成人の日	29	水	
14	火	社会科見学（5年）	30	木	社会科見学（4年）
15	水	B時程午前授業	31	金	フリービーのみあり
16	木	理科出前授業（3年） 社会科見学（6年）			

《スクールカウンセラー来校日・1月》

池田 麻由子 先生…16日（木）、20日（月）、27日（月）

カウンセラー室 直通電話番号 3322-7678 （留守番電話にメッセージを入れてください）